

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			定員は、適切である。必要に応じて裏の公園や、町内の公民館を活用して支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4		車椅子の利用者がおらず、手すりなどを設けてはいないが、室内に段差はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		1	短時間の職員が、出勤日数や出勤時間等で打ち合わせ等に参画できていないことがあるため、改善を図りたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			アンケートは、職員全員に回覧を行い、保護者の方々の意向を基に、業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	1	現在、第三者による外部評価は、行っていないが、将来的に導入したい意向はある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		可能な限り市や県の研修に参加したりして、研修の機会を設けている。自施設での研修も合わせて行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者の方からの意向や、指導員の気付き等を取り入れ、本人の発達も考慮し、課題の設定を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		支援の必要性に応じて、標準化されたアセスメントツールを使用している。事業所独自のツールも使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			チームで立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			季節の変化に興味を持てるようにする等、多彩な活動プログラムを用意している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			長期休暇等、チームで計画を立て支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			個別では、その子の発達に合わせた支援を行っている。活動への参加が難しい場合。集団活動に参加できるよう、スモールステップで支援を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		出勤時間が異なる職員もいるため、連絡調整を行い伝達と確認をしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			支援の振り返りや、連絡事項など、情報共有に努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			日々、一人ひとりの行動観察記録をとっている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			定期的にモニタリングを行い、急な変化があったお子様など、必要に応じて支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1		ガイドラインに沿い複数の支援を組み合わせさせた支援を実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			最も詳しい者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			保護者の方々、学校などと連絡調整を行い適切に対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		医療的ケアが必要な子はいないが、利用している子で必要な場合は、それに従って主治医と連携をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			必要に応じて、情報収集を行い相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		卒業に限らず、子どもの特性に応じて、新たな事業所を利用したりする場合にも、支援方法などの情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		連携し、助言や研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	3	近隣の公園などで、一緒に場を共有したり、一緒に活動を行ったりする機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	3		児童発達支援管理責任者が積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			日々の活動報告や、日常生活の中での気づきや課題について保護者の方々に報告を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	1	相談内容に応じてアドバイス等の支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約書・重要事項説明書等に基づき丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			相談を受けた場合は、必要に応じて面談等し、支援や助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	6	今年度は、保護者会の開催は、行っていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情やトラブルが発生した場合は、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月お便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			十分留意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			意思伝達方法について、必要に応じて配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	1	コロナ禍ではあるが、絵画造形展を開催する予定である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			保護者には、おたよりでマニュアルの存在や開示等の案内を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			月に1度、避難訓練等を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			外部や事業所内での研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			チームで話し合いを行っており、必要な方には、説明と同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		おやつ等アレルギー物質のWチェックを行い事故防止に努めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			全ての事業所のヒヤリハットを集め、事例集を作成し、事故防止に努めている。